

# 緑化だより

No.57 平成22年12月号



平成22年11月20日 去りゆく秋

年内の開園は12月28日までとなります。新年は、1月4日から開園いたします。

- きのこユーモラスネーミング
- 庭木の手入れ
- 樹のあれこれ

- 研修会報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# きのこユーモラスネーミング

## 外国編(9) 『Turkey tail 七面鳥の尻尾』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もありますが、4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“七面鳥の尻尾”と呼ばれているきのこは日本ではカワラタケのことです。アメリカなどでは、感謝祭でのごちそうにされているのでなじみのある鳥なのでしょう。きのこの色・形がまさに七面鳥の尻尾に似ているのです。和名の“瓦茸”は、群生している様子が屋根瓦に似ていることで名付けられています。

以前、国立がんセンターの動物実験で制ガン作用の有効性が高いとされ、カワラタケを煎じてお茶がわりに飲めば人間にも効果があるのではないかと考えられた時期がありました。しかし、最近の研究で体に悪い成分も含まれていることがわかったので注意が必要です。また、培養菌糸からクレスチンという抗癌剤が作られましたが、後の調査で効果に疑問があることがわかり現在はあまり利用されていないようです。



枯木に生えるカワラタケ

## 庭木の手入れ

### 『12月の手入れ』

師走になりました。一年の締めくくりです。改めて庭全体を眺めてみてください。さっぱりとした庭にして新年を迎えるために、枯れた枝や痛んだ枝を処理しましょう。

#### ◎枝の処理

枝の処理に当たって、大きい剪定はできるだけ控え、枯れ枝除去と不要枝切除程度にしましょう。落葉樹は耐えられますが、常緑樹や針葉樹では強い刈り込みでは枯死することもあります。特に、針葉樹の古木にも大きい剪定を嫌う種類があります。

#### ◎施肥

寒肥はこれから2月までに与えます。寒肥は緩効性が適しており、有機質肥料を与えるのが一般的です。通常油カスと発酵鶏糞を等量混合して与えます。樹冠の先端の下部付近に20~30cmの穴を1mピッチで掘り、1穴に両手一杯程度の量を入れて軽く土をかけます。

#### ◎病虫害駆除

病虫害駆除では、先月に引き続いて、ウドンコ病やスス病の対策を行います。褐斑病や黒点病など葉に斑点模様が見えたら、銅水和剤を散布します。

害虫では、ミノムシ、クリケムシなどが活躍します。ミノムシやブランコケムシ(マイマイガ)の卵塊は見つけ次第取り除きましょう。ルビロウカイガラムシ等はロウ物質をつけて固定しています。薬剤では処理しにくいので、ヘラなどでそぎ落とします。もう少し気温が下がればマシン油乳剤を散布できます。テッポウムシも木クズの有無をよく観察して除去します。

# 樹のあれこれ

## ゲッケイジュ クスノキ科ゲッケイジュ属

今年 2 月、カナダで開催されたバンクーバーオリンピックで、浅田真央選手が銀メダルを獲得しました。オリンピックやマラソンなどのスポーツ大会の表彰式で使用されている月桂冠がゲッケイジュで作られているというのは、よく知られています。

これは、ギリシャ神話のアポロンとダフネの話に由来しています。アポロンの愛を逃れようと妖精ダフネが変身したのがゲッケイジュで、アポロンはその愛の記念に月桂冠を付けるようになったということです。古代ギリシャではスポーツは神、特にアポロンに捧げるものであったため、勝利と栄光のシンボルとして勝者や優秀なものたち、大詩人などの頭上に月桂冠を被せたと言われています。

葉にはシオネールと呼ばれる芳香成分が含まれ、葉を乾燥させたものをローリエ(フランス語)、ローレル(英語)などと呼び香辛料として利用されているのもよく周知されていると思います。その他、カレーの成分にもベリールとして利用されていますし、ヨーロッパでは芳香性健胃薬として内服し、リウマチ・疹癬などの塗布薬としても使われているようです。

『月桂冠』と聞いて、日本酒が頭に浮かんだ方もいらっしゃるでしょうか。ちなみにその酒造会社名の由来もこのギリシャ神話から付けられたようです。緑化センターでは、苗畑や見本園にあります。



ゲッケイジュの雌花(雌雄別株)



ゲッケイジュの葉

# 研修会報告

11月5日(金) 『秋の植物観察』

講師 緑化センター職員 正本 良忠

爽やかな秋晴れに恵まれ、絶好の散策日和に 30 名近い方に参加いただきました。例年よりも色づきが遅れていた紅葉ですが、研修会の日には見頃を迎えることができ、その紅葉を中心に、カエデ類、カイノキ、マルバノキ、ニシキギなど計 26 種類の樹種をご紹介しますことができました。

また、当日はもみじ祭り期間中であり、観察と同時に、もみじ祭りクイズラリーに挑戦する方もいらっしゃいました。解説を聞いたためか、正解率も高かったようです。



# 研修会・イベント紹介

## 12月3日(金) クリスマスリース作り

10:00～12:00 学習室 講師 緑化センター職員 佐々木 輝美  
今年のクリスマスは、手作りのリースを飾ってみませんか。  
(※定員に達したため、応募を締め切りました。)

## 12月5日(日) 冬の写真教室

10:00～12:00 学習室 講師 二科会会友 宗岡 泰昭 先生  
秋の写真コンクール公開審査とその講評。(※写真コンクールの応募は12/3まで)

## 12月10日(金) 12月の自然探勝

10:00～12:00 管理事務所前集合 講師 広島大学名誉教授 石橋 昇 先生  
石橋先生による毎月恒例の自然観察会です。

## 12月23日(木) 注連縄作り

10:00～12:00 学習室 講師 小河原わら工芸会  
忙しい年の瀬ですが、新年に向け注連縄を手作りしましょう。  
(※要予約 先着15名様 材料費500円 11/25現在、定員まで残りわずかです。)

## 1月6日(木) 春の七草を学んで食べよう

10:00～12:00 学習室 講師 森林インストラクター 長井 稔 先生  
春の七草粥について学んで食べて、お正月に疲れた胃腸を癒やしましょう。

## 2月11日(金) 2月の自然探勝

10:00～12:00 管理事務所前集合 講師 広島大学名誉教授 石橋 昇 先生  
石橋先生による毎月恒例の自然観察会です。

## 2月20日(日) 山野草寄植教室

10:00～12:00 学習室 講師 森林インストラクター 長井 稔 先生  
節分草・雪割草を寄せ植えしましょう。(※要予約 先着30名様 材料費1500円)

## 2月27日(日) ジャンボしいたけ植菌教室

10:00～12:00 学習室 講師 日本きのこセンター 入江 淳人 先生  
ジャンボしいたけを育ててみませんか。(※要予約 先着30名様 材料費500円)

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### ◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

私の好きな緑化センター展 前月より継続～12月5日(日)

秋の緑化写真コンクール作品展 12月9日(木)～1月16日(日)

秋の緑化写真コンクール応募作品を展示します。

※予定していた「冬のバードカービング」は、都合により中止となりました。

### ◎ 秋の緑化写真コンクールの応募受付

秋の緑化写真コンクールの応募受付期間が、残りあとわずかになりました(12月3日締切)。1人3点まで応募することができ、12月5日の「冬の写真教室」において、応募作品の中から**特選1点、入選2点、佳作3点**を決定致します。また審査終了後には、写真家の先生から講評・アドバイスをいただくことができ、9日からの**作品展**では1人1作品を展示します。詳しくは、管理事務所及びレストハウスで配布している要項をご覧ください。意欲作をお待ちしております。



昨年の参加者による「クリスマスリース」作品



一昨年の「12月の自然探勝」



昨年の「注連縄作り」研修会



昨年の「秋の緑化写真コンクール」公開審査の様子